



福岡医発第 1271 号 (地)
令和 4 年 8 月 5 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

医療の質向上のための体制整備事業への協力について
(医療の質可視化プロジェクト)

標記の件につきまして、厚生労働省医政局総務課及び日本医療機能評価機構より日本医師会を通じて、別紙のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

本件は、日本医療機能評価機構が病院を対象に実施する指標を活用し医療の質を可視化するプロジェクトについて周知をするものです。今回は参加を希望する病院において、「医療安全」「感染管理」「ケア」の3つのテーマに関して計測いただく予定とのことです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医業経営担当理事 田中久志
会長 島田昇二郎

日医発第 759 号（地域）

令和 4 年 7 月 25 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

公益社団法人日本医師会

常任理事 今 村 英 仁

（公印省略）

医療の質向上のための体制整備事業への協力について（医療の質可視化プロジェクト）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、厚生労働省医政局総務課より本会に対し、事務連絡「医療の質向上のための体制整備事業への協力について（依頼）」が発出されました。また、公益財団法人日本医療機能評価機構より「医療の質向上のための体制整備事業における医療の質可視化プロジェクトへのご協力について（ご依頼）」の文書による協力依頼がありました。

本件は、日本医療機能評価機構による取組として、参加を希望する協力病院が「医療安全」「感染管理」「ケア」に関連した医療の質指標を定期的に計測する標記のプロジェクトについて周知を依頼するものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知頂くとともに、病院をはじめとした貴会管下関係機関への周知につき、ご高配賜りますようお願いいたします。

各医師会通知



事 務 連 絡
令和 4 年 7 月 5 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医政局総務課

医療の質向上のための体制整備事業への協力について（依頼）

医療施策の推進については、日頃より格別の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

厚生労働省医政局に設置された「医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会」において、医療の質の向上のための対応について議論され、「これまでの既存の取組を最大限に活かすことを前提とし、医療の質の評価・公表に積極的に取り組む病院団体等の協力を得ながら、『医療の質向上のための協議会』を立ち上げ、医療機関、病院団体等を支援する枠組みを構築」することとされています。本検討会の議論を踏まえ、厚生労働省の財政支援を受け、公益財団法人日本医療機能評価機構（以下「評価機構」という。）が医療の質向上のための体制整備事業を実施しています。

各団体におかれましては、評価機構から依頼する「医療の質向上のための体制整備事業における医療の質可視化プロジェクトへのご協力について（財日医機評第 290 号 2022 年 7 月 5 日付）」について、特段の配慮をお願い申し上げます。

以上

財日医機評第 290-5 号

2022 年 7 月 5 日

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
代表理事 理事長 河北 博文

医療の質向上のための体制整備事業における
医療の質可視化プロジェクトへのご協力について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、当機構の事業の推進に多大なご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本事業では、規模・機能に関わらず広く全国の病院を対象に同じ定義の医療の質指標を定期的に計測するモデル事業「医療の質可視化プロジェクト」を実施いたします（詳細別紙）。本プロジェクトは、これまで質指標を用いた計測の経験がない病院を主な対象に、病院が抑えるべき基本事項でかつ計測作業の負荷があまりかからない指標を選択し、運用いたします。

つきましては、病院勤務の貴会 会員の皆様に本プロジェクトをご案内いただきますようお願いいたします。

末筆ながら、貴会の一層の発展をお祈り申し上げます。

以上

<お問い合わせ>

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療の質向上のための体制整備事業 事務局

E-mail : info-qiconf@jcqhc.or.jp

TEL : 03-5217-2326 FAX : 03-5217-2331

医療の質可視化プロジェクト

本プロジェクトは、我が国の全病院(8,238 施設*)を対象とした指標を活用し医療の質を可視化するプロジェクトです。病院の役割・規模等にかかわらず、本事業で検討した質管理に重要な指標を計測し、医療の質の更なる向上を目指すオールジャパンの取組です。我が国の医療の質向上のために、是非、本プロジェクトにご協力ください。

*厚生労働省「令和2(2020)年医療施設(静態・動態)調査(確定数)・病院報告の概況」

～医療の質可視化プロジェクト(概要)～

目的	「医療安全」「感染管理」「ケア」に関連した代表的な指標を計測・可視化することで、医療の質向上を目指します。														
実施期間	2022 年 9 月～2023 年 3 月														
対象	医療の質向上に向け指標を用いた取組に関心のある病院 ※はじめて指標を活用する病院の積極的な参加を期待しておりますが、既に指標の活用が進められている病院も是非ご参加ください。														
主な指標	下記 3 テーマに関連する 10 指標程度を計測いただく予定です。 <table><tr><td>テーマ</td><td colspan="2">指標の候補（7 月中旬に確定する予定）</td></tr><tr><td>医療安全</td><td colspan="2">転倒転落、服薬指導、肺血栓塞栓症予防 等</td></tr><tr><td>感染管理</td><td colspan="2">細菌培養、血液培養 2 セット実施、薬物血中濃度測定 等</td></tr><tr><td>ケア</td><td colspan="2">褥瘡発生、身体抑制、栄養ケアアセスメント 等</td></tr></table>			テーマ	指標の候補（7 月中旬に確定する予定）		医療安全	転倒転落、服薬指導、肺血栓塞栓症予防 等		感染管理	細菌培養、血液培養 2 セット実施、薬物血中濃度測定 等		ケア	褥瘡発生、身体抑制、栄養ケアアセスメント 等	
テーマ	指標の候補（7 月中旬に確定する予定）														
医療安全	転倒転落、服薬指導、肺血栓塞栓症予防 等														
感染管理	細菌培養、血液培養 2 セット実施、薬物血中濃度測定 等														
ケア	褥瘡発生、身体抑制、栄養ケアアセスメント 等														
ご対応事項	過去 12 か月分のデータをもとに各指標について計測を行っていただき、下記タイミングで 2 回データを提出いただきます（指標により計測対象期間が異なる場合があります）。 <table><tr><td>提出回数</td><td>計測データの対象期間</td><td>提出時期</td></tr><tr><td>1 回目</td><td>2021 年 10-12 月／2022 年 1-3 月（計 6 か月分）</td><td>2022 年 10 月 31 日（月）</td></tr><tr><td>2 回目</td><td>2022 年 4-6 月／7-9 月（計 6 か月分）</td><td>2023 年 1 月 31 日（火）</td></tr></table>			提出回数	計測データの対象期間	提出時期	1 回目	2021 年 10-12 月／2022 年 1-3 月（計 6 か月分）	2022 年 10 月 31 日（月）	2 回目	2022 年 4-6 月／7-9 月（計 6 か月分）	2023 年 1 月 31 日（火）			
提出回数	計測データの対象期間	提出時期													
1 回目	2021 年 10-12 月／2022 年 1-3 月（計 6 か月分）	2022 年 10 月 31 日（月）													
2 回目	2022 年 4-6 月／7-9 月（計 6 か月分）	2023 年 1 月 31 日（火）													
メリット（想定）	○ 協力いただいた病院のデータを集計し、全体分布及び基本統計量など自院の現状を客観的に把握可能とする情報をフィードバックいたします。 ○ 医療の質指標を活用した質改善に関するセミナー、協力病院間の交流の機会など、協力いただく病院はすべて無料で参加できます（現在企画調整中）。 ○ 本プロジェクトの協力病院であることを広く公表いたします。														

申込期間：2022 年 7 月 1 日～8 月 31 日

申込方法：本事業オフィシャルサイト (<https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/>)



<お問い合わせ>

公益財団法人日本医療機能評価機構 医療の質向上のための体制整備事業 事務局

E-mail：info-qiconf@jqhc.or.jp TEL：03-5217-2326